



2021年11月30日

各 位

会 社 名 株式会社フーバーブレイン
代表者名 代表取締役社長 興水 英行
(コード：3927 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 石井 雅之
(TEL. 03-5210-3061)

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○ 開催状況

開催日時	2021年11月30日 11:00~12:00
開催方法	対面による実開催
開催場所	東京都中央区日本橋茅場町2-6-1 日経茅場町別館地下1階
説明会資料名	株式会社フーバーブレイン 第21期(2022年3月期)第2四半期 決算説明会

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以上

株式会社フューバーブレイン

第21期（2022年3月期）

第2四半期 決算説明会

2021年11月30日（火）



アジェンダ

- 1 上期決算の概要
- 2 取り組みと成長戦略

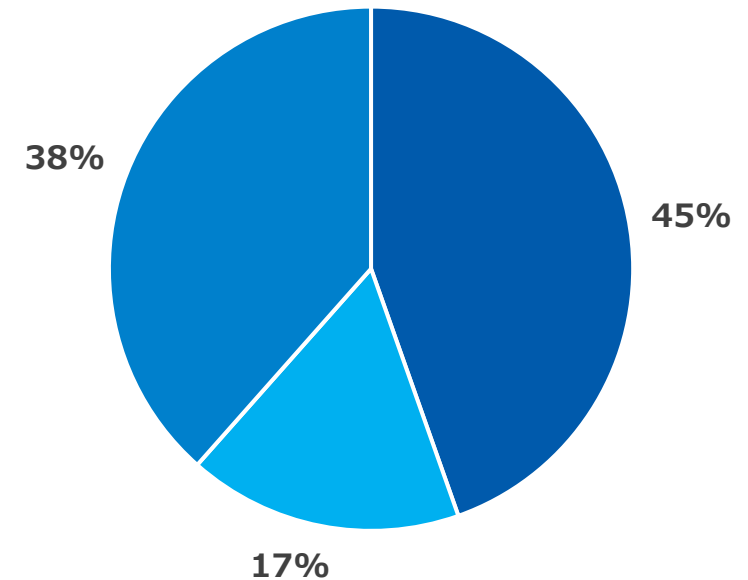
1. 上期決算の概要



はじめに

当社は、2021年4月にSI事業者であるGHインテグレーション株式会社（以下、「GHI」）を連結子会社化し、従前の当社事業とGHIの事業を踏まえ、当社グループの事業を「ITツール事業」と「ITサービス事業」の2セグメントに変更いたしました。

2021年3月期実績	売上高	新セグメント	売上高
①アンチマルウェア及び業務管理関連	690	ITツール事業	セキュリティツール 618
②業務管理サーバー	134		エンドポイントソフトウェア 170
③Webデータベース関連	14		ネットワークアプライアンス 448
①+②保守	137		働き方改革ツール 234
③保守	55		計 853
③役務サービス	25	ITサービス事業	
①+②役務サービス、その他	24		
当社売上高合計	1,083		
GHI売上高実績	301		
当社グループ売上高合計（注）	1,384	売上高合計	1,384



(単位：百万円)

(注) 上記2021年3月期実績について
2021年4月に子会社化したGHIの実績と当社実績を結合した場合を示しております。
GHIの業績連結は2022年3月期からになります。
表示している2021年3月期実績数値に関して、会計監査人の監査を受けておりません。

財政状態の概要 (B/S)

	第21期第2四半期 (2021年9月30日)	主な内訳
(単位：千円)		
資産の部		
流動資産合計	1,633,594	総資産 2,107百万円のうち 現預金が1,329百万円
固定資産合計	474,055	
資産合計	2,107,649	
負債の部		総負債 801百万円のうち 前受金及び長期前受金： 484百万円
流動負債合計	417,247	借入金：50百万円
固定負債合計	384,504	
負債合計	801,751	
純資産の部		
純資産合計	1,305,897	
負債純資産合計	2,107,649	
自己資本比率	61.5%	

経営成績の概要 (P/L)

第21期第2四半期	
(単位：千円)	
(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	
売上高	768,298
売上原価	418,705
売上総利益	349,592
販売費及び一般管理費	411,707
営業損益	▲62,115
営業外収益及び費用	972
経常損益	▲61,142
特別利益及び損失	-
税引前当期純損益	▲61,142
法人税等合計	▲6,330
当期純損益	▲54,811

ITツール事業の「ネットワークアプライアンス」、「働き方改革ツール」、ITサービス事業の子会社GHIの売上高が順調に推移。

成長に向けた投資として、当社製品開発強化・新規商材の提案力強化に向けたエンジニア人員の増加により人件費関連が増加。

子会社GHIの取得に伴う費用として、子会社取得関連費用20,871千円、のれんの償却額8,526千円を計上

セグメント情報

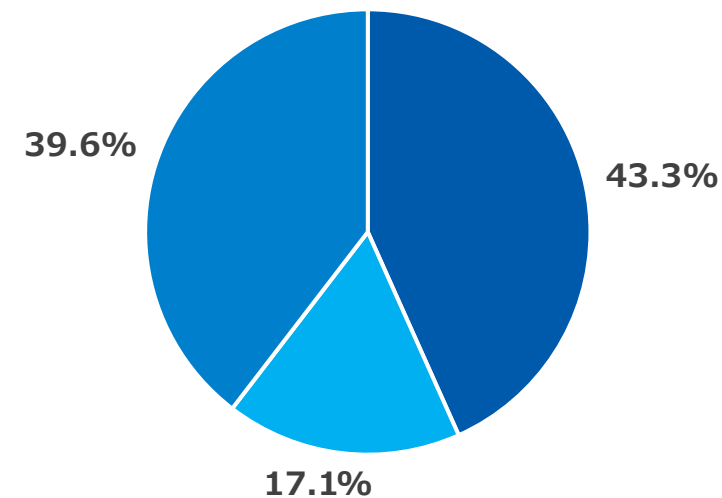
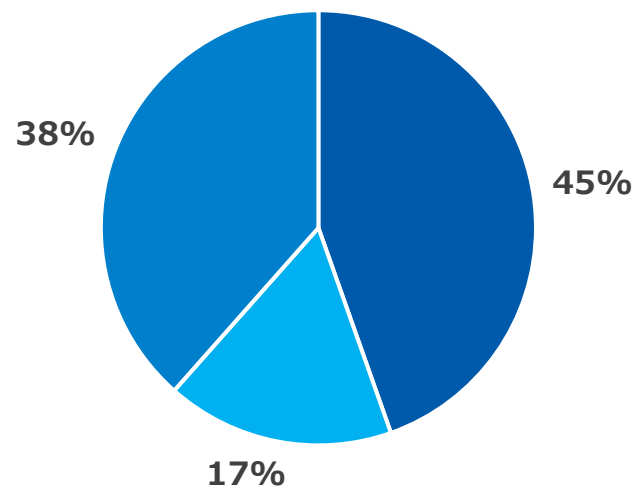
2021年3月期通期		売上高
ITツール事業	セキュリティツール	618,673
	エンドポイントソフトウェア	170,535
	ネットワークアプライアンス	448,137
	働き方改革ツール	234,726
	計	853,399
ITサービス事業		531,529
売上高合計		1,384,928

(単位：千円)

2022年3月期第2四半期		売上高
ITツール事業	セキュリティツール	332,706
	エンドポイントソフトウェア	84,820
	ネットワークアプライアンス	247,885
	働き方改革ツール	131,537
	計	464,243
ITサービス事業		304,055
売上高合計		768,298

(注) GHI実績は監査を受けておりません。 ※1：うちSaaS型19,497千円

※2：うちSaaS型18,270千円



セグメント情報

(単位：千円)

	ITツール事業	ITサービス事業	合計	調整額	四半期連結P/L 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	464,243	304,055	768,298	-	768,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	464,243	304,055	768,298	-	768,298
セグメント利益	42,892	34,628	77,520	▲139,635	▲62,115
セグメント利益率 (%)	9.2	11.4	10.1		

調整額▲139,635千円は、当期子会社取得関連費用20,871千円、のれんの償却額8,526千円、各報告セグメントに配分しない全社費用110,238千円になります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。

主要事業の経営指標 (KPI)

2021年3月期

2022年3月期第2四半期

セキュリティツール

売上高 (月間平均) : 69,491千円
営業人員数 : 16名

74,328千円
18.3名

働き方改革ツール

売上高/営業人員
(月間平均) : 4,343千円

4,061千円

SaaS型以外

働き方改革ツール

売上高 (月間平均) : 1,624千円
導入社数 : 809アカウント
ARPU (月間平均) : 2,008円

3,045千円
1,571.4アカウント
1,938円

SaaS型

ITサービス事業

売上高 (月間平均) : 44,294千円
エンジニア人員数 : 45名
売上高/エンジニア人員
(月間平均) : 984千円

50,675千円
63.1名
803千円

(注) GHI実績は監査を受けておりません。

※営業人員数・導入社数・エンジニア人員数は期中平均数値

ITツール事業売上高前期比増減額 ハイライト

当期実績 前期比増減額 (単位：千円)	1Q会計期間	2Q	2Q累計期間	増減率
戦略的開拓 新規販売代理店群	2,174	▲4,908	▲2,733	▲4.6%
組織再編実施の 既存販売代理店グループ	▲63,016	▲42,896	▲105,912	▲81.1%
その他既存販売代理店群	68,486	57,782	126,269	155.3%
上記販売代理店群全体	7,644	9,978	17,622	104.2%

※ITツール事業内で、SaaS型製商品群を除いた実績比較になります。

2. 取り組みと成長戦略



事業概要 主要事業

創業からのコア事業

セキュリティツール



さらなる成長に向けた新事業

働き方改革ツール



子会社を含めた3軸目のサービス事業

ITサービス事業



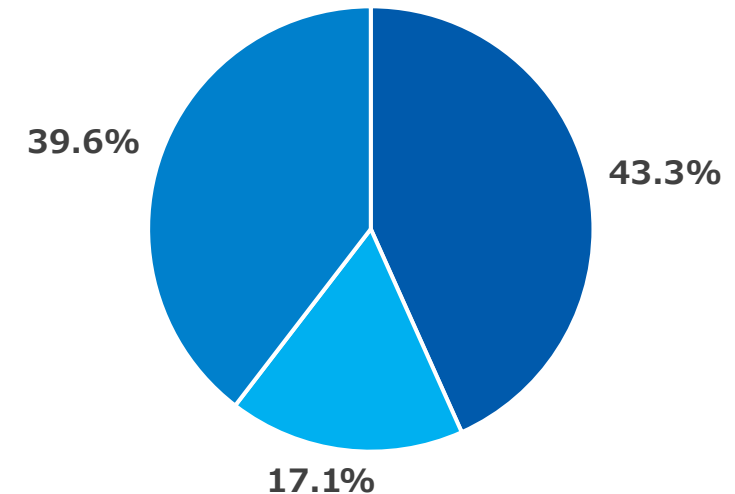
(単位：千円)

2022年3月期第2四半期

売上高

2022年3月期第2四半期		売上高
ITツール事業	セキュリティツール	332,706
	エンドポイントソフトウェア	84,820
	ネットワークアプライアンス	247,885
	働き方改革ツール	131,537 ※
	計	464,243
ITサービス事業		304,055
売上高合計		768,298

※：うちSaaS型18,270千円



事業全体の成長イメージ

売上高



現在

将来

主要事業の成長戦略

ITツール事業のセキュリティツールは、販売パートナーの新規開拓・関係深耕を通して、販売拡大を目指す。

ITツール事業の働き方改革ツールを当社グループのさらなる成長の起爆剤として製品力強化・知名度向上に注力。

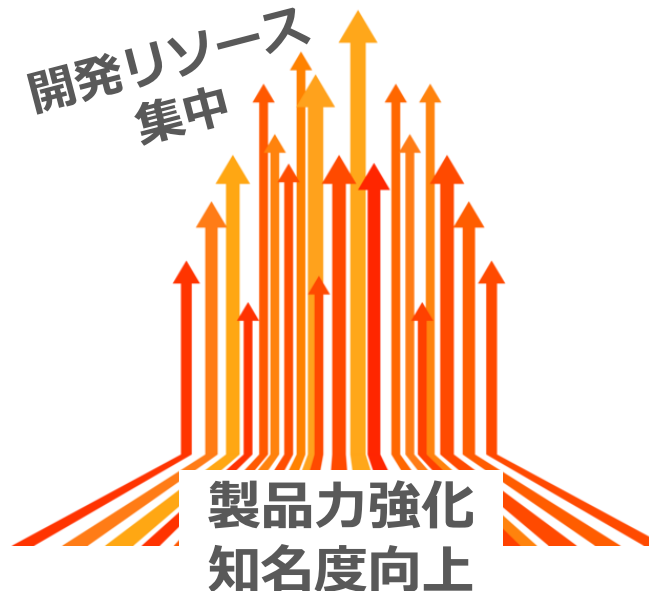
ITサービス事業は、子会社GHIと共に受託開発・SESを新たな収益源として育成。

セキュリティツール



新規開拓
関係深耕

働き方改革ツール



ITサービス事業



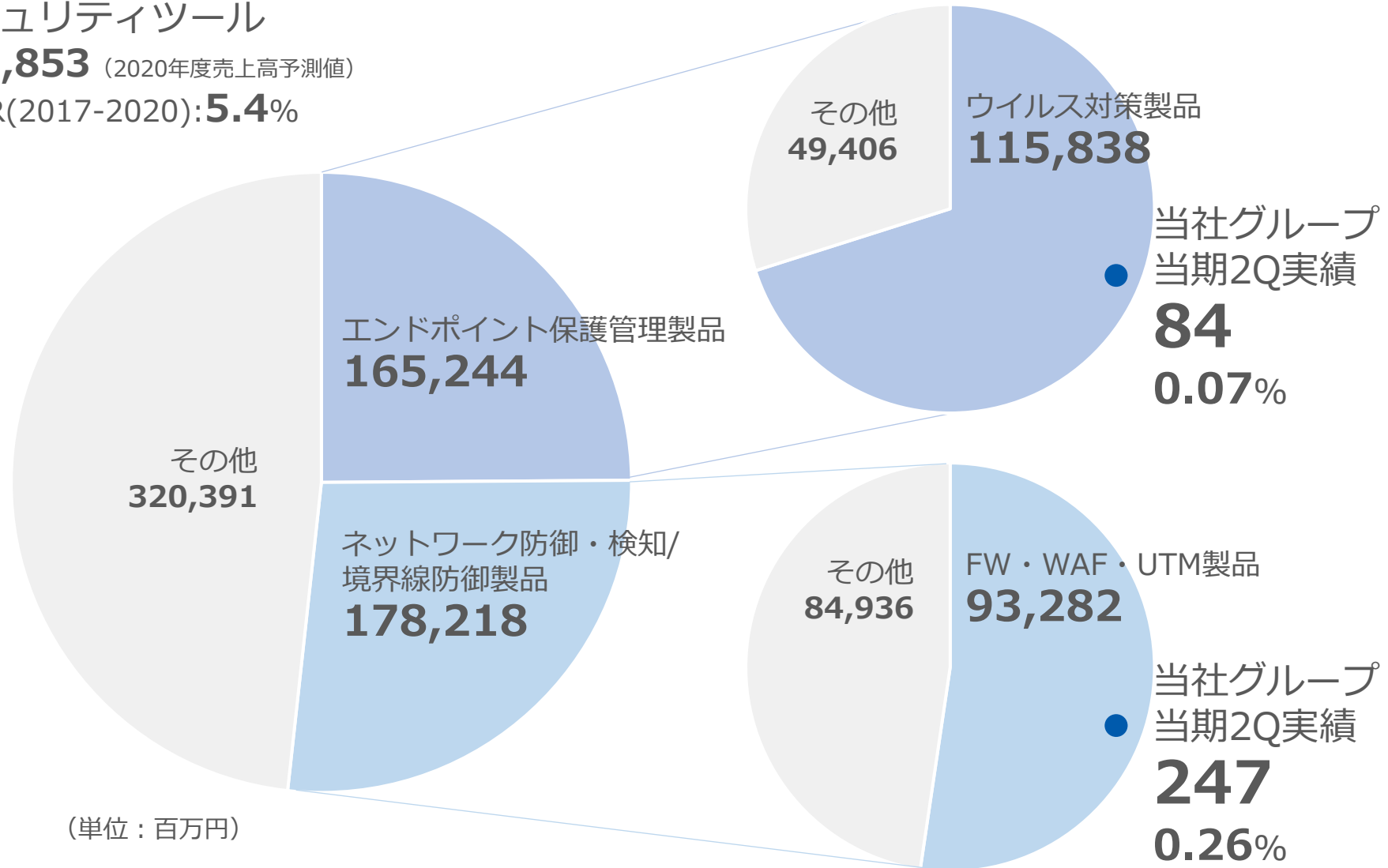
育成

セキュリティツール 市場規模

セキュリティツール

663,853 (2020年度売上高予測値)

CAGR(2017-2020):**5.4%**



参考：JNSA「2019年度 国内情報セキュリティ市場調査報告書」
https://www.jnsa.org/result/surv_mr/2020/index.html

セキュリティツール エンドポイントソフトウェアの強み



日本企業に強い世界標準のセキュリティ



独自の国内脅威データベース

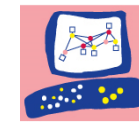


ワールドワイド
セキュリティベンダー

セキュリティツール エンドポイントソフトウェアの強み



多層防御をワンパッケージで提供



Check Point
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD

世界の大企業向けで培われた
ゲートウェイセキュリティUTM

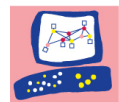


Eye "24-7"
Work Smart Agent

業務可視化による、内部脅威対策

セキュリティツール ネットワークアプライアンスの強みと優位性

販売実績、案件対応力で有力SIerなど販売パートナーと強固な関係構築。
取扱外のネットワーク商材についても対応可能なハイレベルエンジニア在籍。
同様商材群を取り扱う国内大手代理店に比べ、
小規模組織の即応力・価格競争力を提供。



Check Point
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD

世界のネットワークFW市場のリーダー

世界の大企業向けで培われた
ゲートウェイセキュリティUTM

imperva

世界のWAF市場のリーダー

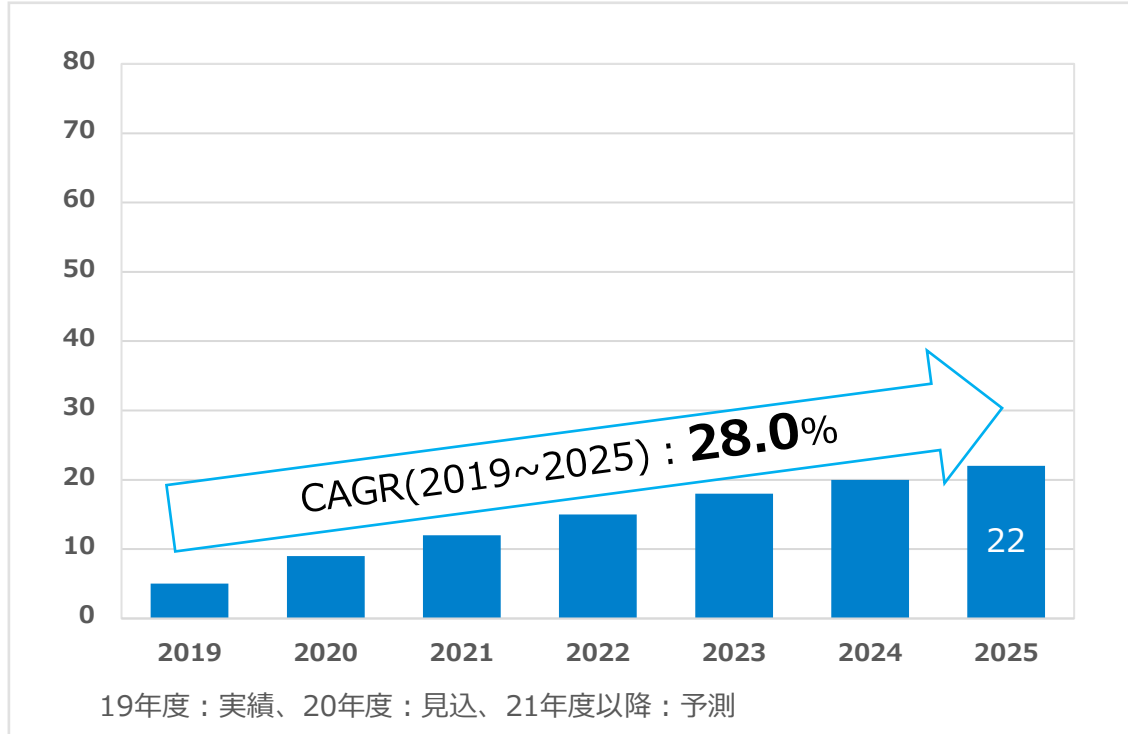
国内初の販売代理店として、
導入・運用のナレッジ豊富。

CATO
NETWORKS

世界初のSASEプラットフォーム

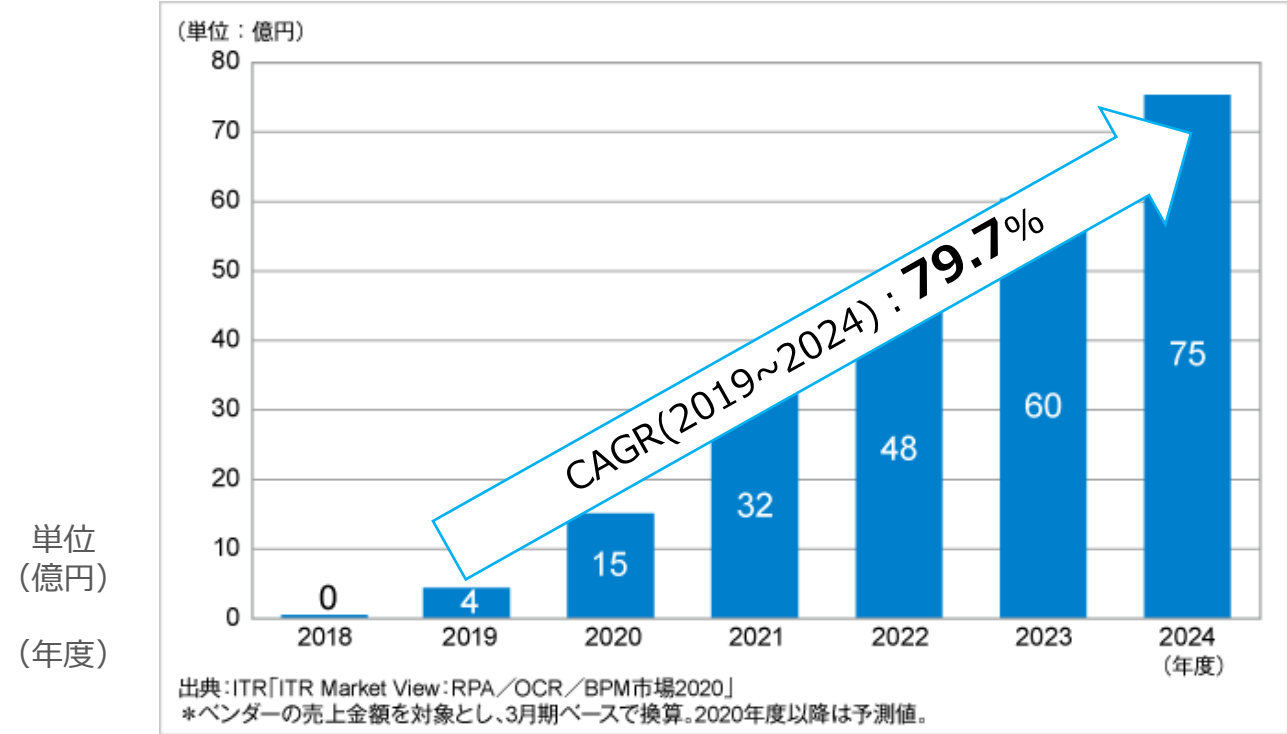
国内2社目のディストリビューター。
有力SIerと共に販売攻勢。

業務可視化ツール市場規模推移



参考：株式会社富士キメラ総研
「After/Withコロナで加速するニューノーマル時代のICT変
革ソリューション市場」
<https://www.fcr.co.jp/report/204q07.htm>

タスク・マイニング市場規模推移



出典：ITR「タスク・マイニング市場規模推移および予測
(2018~2024年度予測)」を基にフーバーブレインが作成
<https://www.itr.co.jp/company/press/200903PR.html>

働き方改革ツール 働き方改革ツール製品の強み



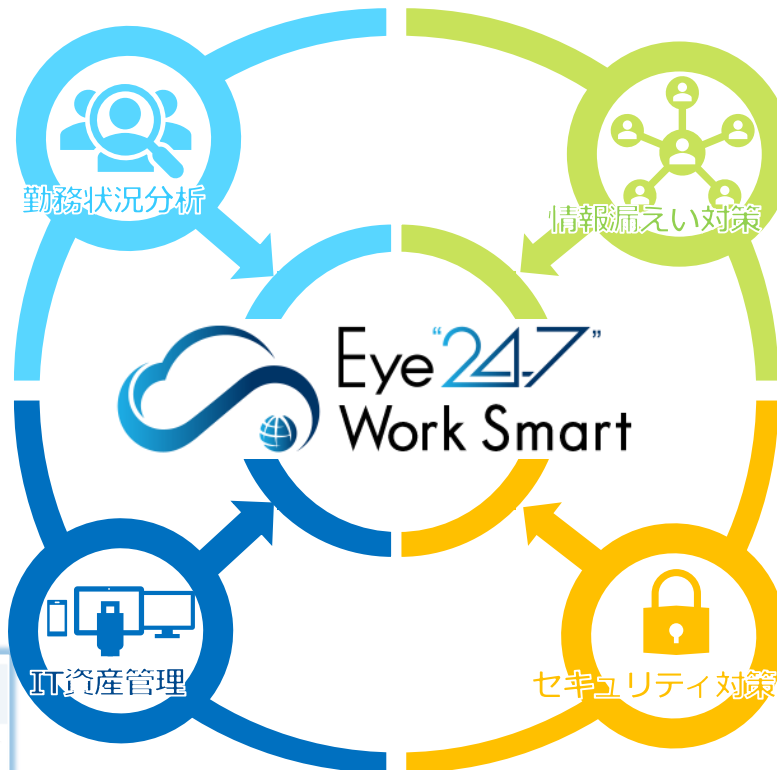
セキュリティソフト会社が開発した「業務可視化・情報漏えい対策ソフトウェア」をクラウドサービスへ。
前製品から国内15千社の販売実績。
新たな市場の主要製品を目指す。

- クライアント情報
- 作業内容
- 部署マスター設定
- 使用アプリケーション
- 勤務時間
- ファイル操作ログ
- 作業時間
- ...他

勤務状況分析



IT資産管理



情報漏えい対策

情報漏えい対策のスクリーンショットには、以下の要素が含まれています:

- 個人情報ファイルスキャン:** 指定キーワードを含むファイル名をクライアントに検出し、サーバーへ通知する機能。
- USB制御・使用履歴:** USBデバイスの接続と使用履歴の監視機能。
- 印刷制御:** 印刷回数や内容の制限機能。
- 操作ログ:** 操作ログの取得と監視機能。
- 印刷操作監視:** 印刷操作の監視機能。
- 印刷制御、制限:** 印刷制御と制限の設定機能。
- 個人情報ファイルスキャン:** 個人情報ファイルスキャン機能。
- クリップボード操作監視:** クリップボード操作の監視機能。
- デスクトップ操作監視:** デスクトップ操作の監視機能。
- 他:** その他の情報漏えい対策機能。

セキュリティ対策

セキュリティ対策のスクリーンショットには、以下の要素が含まれています:

- 脆弱ソフトバージョンチェック:** 脆弱ソフトウェアのバージョンチェック機能。
- ウイルス対策ソフト導入:** ウイルス対策ソフトウェアの導入状況を示す棒グラフ。導入率は88.9% (24)です。
- 脆弱ソフトバージョンチェック:** 脆弱ソフトウェアのバージョンチェック機能。
- ポリシー設定:** セキュリティポリシーの設定機能。
- PC位置情報一覧:** PC位置情報の一覧表示機能。
- ウイルス対策ソフト情報:** ウイルス対策ソフトウェアの情報表示機能。
- 他:** その他のセキュリティ対策機能。

働き方改革ツール 成長戦略

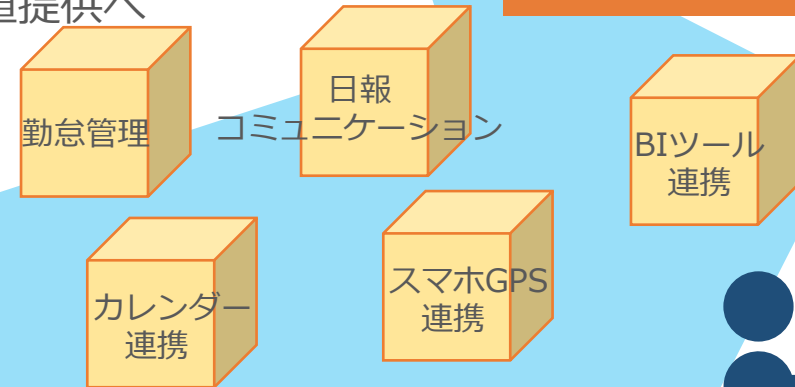
製品力の強化・セールスプロモーション

新たな機能の追加により製品力を強化

業務可視化からタスク・マイニング、さらにその先の価値提供へ

セールスプロモーションにより、知名度向上

人財投資の収益性
(Human Capital ROI)
向上のためのソフトウェア

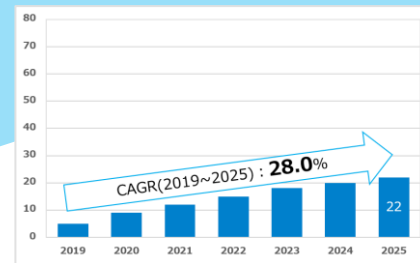


ログの活用

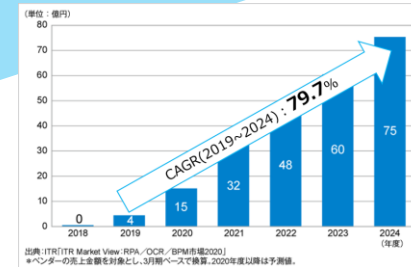


タスク・マイニング

業務可視化



業務可視化ツール市場予測



タスク・マイニング市場予測

ログの管理



ログの記録



不正抑止・内部統制

働き方改革ツール製品の強化

人財投資の収益性
(Human Capital ROI)
向上のためのソフトウェア



Eye^{24.7} Work Smart Product Vision



PC操作ログを
労務管理
生産性向上へ活用

業務可視化

AIによるアラート・アドバイス提供

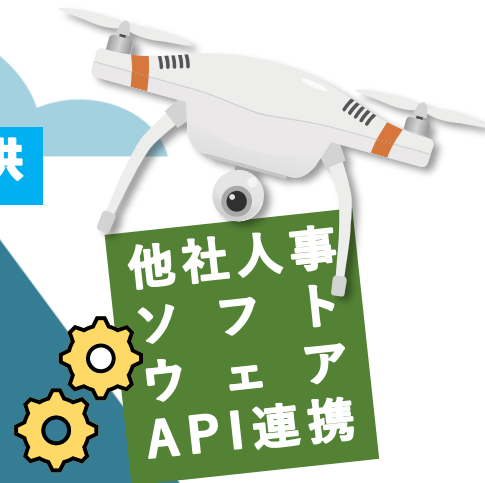
BIによる柔軟な分析

日報コミュニケーション

スマホ位置情報

勤怠管理

カレンダー連携

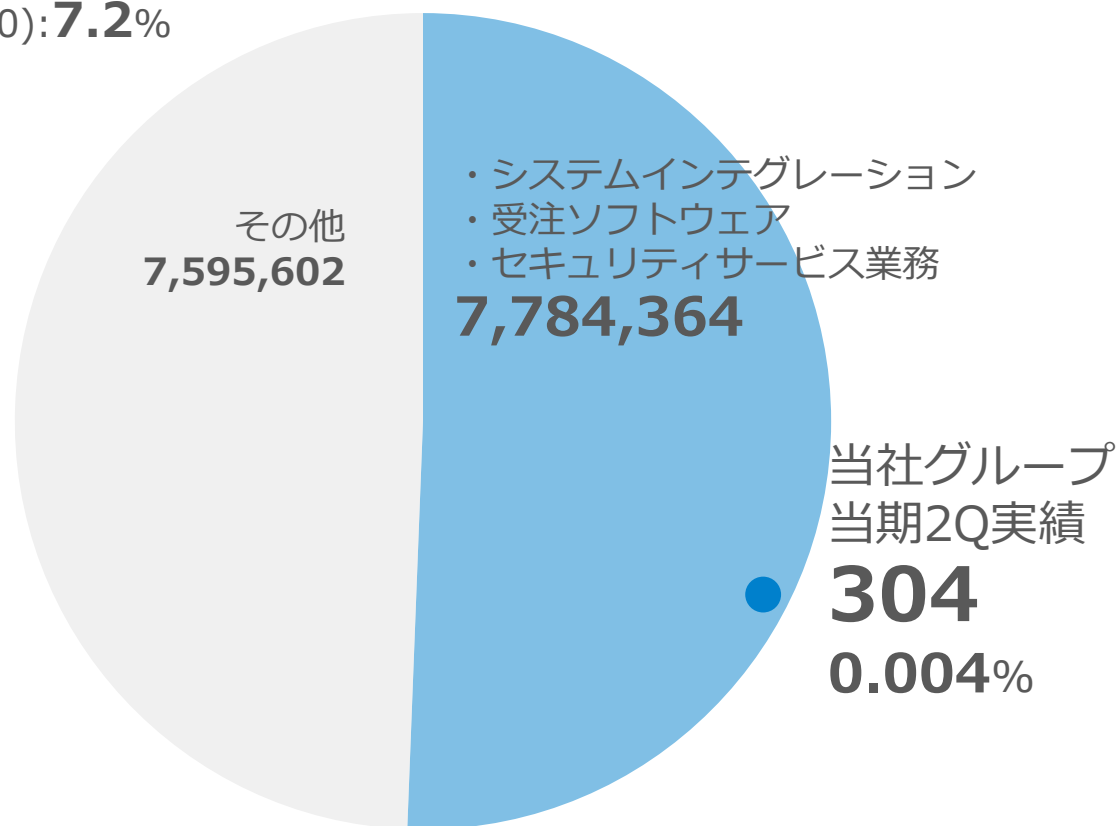


H R
human resources

情報サービス業＋インターネット付随サービス業

15,379,966 (2020年度)

CAGR(2018-2020):**7.2%**



(単位：百万円)

参考：

経済産業省「特定サービス産業動態統計調査 2. 情報サービス業、6. インターネット付随サービス業」
(2021年3月分確報)

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/tokusabido/result-2.html>

取引先SIerから高い評価を得るエンジニアが在籍。

大手通信事業者の先端5Gプロジェクトに参画。今後も需要増加傾向。



- ネットワーク・インフラ構築、5G、IoT、AI領域に精通するエンジニア人材が在籍
- 国内大手通信事業者の5G関連プロジェクト及び国内大手SIerの多数のプロジェクトに携わり、サムスン電子ジャパン株式会社、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社及び日本電気株式会社を始めとした主要取引先の高い評価を得る
- 韓国のITスクールや日本語×ITを専攻する学部との独自ネットワークによって高い日本語能力を有するIT人材の採用に強み

GHI・パートナーと共にITサービス事業の提供力を高め、
ITサービス事業を第3の収益源として育成。



BBSec

株式会社ブロードバンドセキュリティ



Global High-Quality Integration

GHIインテグレーション株式会社



株式会社エルテス



Fuva Brain

IT
サービス
事業の
強化



Challenging Tomorrow's Changes

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

+ 他事業パートナー

会社名	株式会社フーバーブレイン（2015年12月18日東証マザーズ上場 証券コード：3927）
代表者名	代表取締役社長 輿水 英行
設立日	2001年5月8日
資本金	796,631,200円（2021年9月30日現在）
所在地	東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニガーデンコート22階
従業員数	112名（連結、2021年9月30日現在）
事業内容	サイバーセキュリティソリューションの提供 テレワーク環境の構築 生産性およびクオリティオブライフの向上支援 受託開発・SES（連結子会社）

ご留意事項（免責条項）

- 本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 当社の実績に影響を与える事項の詳細な記載は「第21期（2022年3月期）第2四半期報告書」の「事業等のリスク」にございますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与える要素は「事業等のリスク」に掲載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。
- 本資料、データの無断転載はご遠慮ください。

お問い合わせ先

株式会社フーバーブレイン 管理部 Tel. 03-5210-3061